



学校だより

ながや

令和6年 1月26日
横浜市立永谷小学校
校長 神田 敏之

「バレエをしている人の足が高く上がっていてつま先がピンと伸びていてきれいでした。」
「体の動きがしなやかで、音楽と体の動きがぴったりと合っていたのすごかったです。」

校長 神田 敏之

4年生の子どもたちがバレエ鑑賞に行きました。これは教育委員会が主催している行事です。抽選で鑑賞の機会を得ました。洗練された動き、ジャンプの高さ、男性が女性を高く持ち上げるリフトなどに目を奪われました。劇場で本物を見る機会はほとんどないと思いますので子どもにとってよい経験になりました。

今回4年生は、前回プラネタリウム見学へ行った時のふりかえりを生かして行動することにしていました。鑑賞のマナー、歩き方や地下鉄の車内の過ごし方などそれぞれにめあてをもって活動しました。

「電車内でのマナーは守れて、バレエの鑑賞をするにはすごいなと思ったらすぐに拍手をしたりしたので、自分のめあては達成できたと思います。」

よりよい成長を目指すという点で価値のある取組でした。それぞれが「自分のリーダー」を発揮させることができていました。

6年生は、関内、桜木町方面に行きました。今回は午前中にグループ活動を設定しました。社会科の学習で文明開化を扱ったことを生かし、いろいろなものの発祥の地を探しに行きました。今回の活動のねらいとして、社会科の学習を深めること、自分たちで事前に計画をし、実際に行動するというを設定しました。また、安全面を考え、グループに一人ずつ保護者ボランティアに付いていただきました。それぞれのポイントで自分が事前に調べたことをボランティアの方に解説をするという目的意識をもって取り組みました。およそ3時間の計画をポイントからポイントへの所要時間を調べて計画をしているグループもありました。

さて、実際の活動はどうなったでしょうか。地下鉄の駅から地上に出て、活動開始です。ボランティアの方の助けを借りながら地図を読み、目的地に向かいました。途中、会話をしながら歩いていたためか、曲がるべきところを曲がらずに歩いていき道を間違えたグループもありました。予定よりも早く行動していたため、計画にないポイントを回るようにしたグループもありました。カーナビやスマートフォンでのナビが発達している現在です。地図を見て目的地を目指すという経験が不足しているのだと感じました。それでも自分たちでやり遂げたということはこれからの自信になっていくと思います。うまくいかなかった経験が、次に同じようなことを計画するときに生きてきます。例えばあらかじめ交差点の目標物を調べておくことや意味の分からない言葉は説明できるように調べておくということなどで

自分で考え、判断し、行動する。それをふりかえり次の活動に生かしていく。学校での教育活動はこの繰り返しです。ご家庭でも同じように子どもに考えさせる、判断させる、ふりかえらせる機会をもち、保護者との対話の中からよりよい成長を子どもが目指していけるようにしていただけるとありがたいです。



今年度は子どもたちの様子についてホームページも活用してお知らせします。
月1回程度を予定していますので、「学校日記」等のページをご覧ください。